

委員会レポート

総務

閉会中の各委員会活動状況

職員の給与

引き下げ

8月19日協議会開催

危機管理体制

平成21年度人事院勧告で給与の引き下げがされた。

初任給を中心とした若年層を除き、すべての俸給月額を引き下げる。自宅に係る住居手当の廃止、期末・勤奨手当を0・35月分引き下げる。

Q 住居手当廃止の影響額は。

A 対象職員は256人で1ヵ月79万3000円の減額になる。

昨年8月末豪雨災害以後、やっと危機管理体制(案)が示された。

Q 台風・集中豪雨等異常降雨・地震による災害を重点項目としてあげているが、災害に対する歴史認識がない。

A 昨年の8月末豪雨災害は歴史的な災害で、地域防災計画の中に記録する。

Q 三河大地震、岡崎空襲など記録に残すべき。
A 災害対策は極めて大事であり、人災を含め危機管理はやっていく必要がある。



役場窓口

ゼロ予算事業などを視察



郡上市役所にて

平成21年7月14日から16日

■加賀市

コミュニティ活動

市役所に「まちづくり課」、各小学校区に「まちづくり推進協議会」を設置し、コミュニティ活動を進めている。運営費は、補助金と住民からの会費でなっている。

■輪島市

地震防災対策

震度6強の能登半島地震は、大きい余震と津波がなく、火災発生も少なかった。復旧状況は95%完了。仮設住宅は全て撤去され、要援護者マップの作成など地域防災力強化に向け新しいまちづくりが始まっていた。

■高岡市

収納対策

夜間納税相談窓口の開設、インターネット公売を実施している。コンビニ納税の実施により、窓口相談件数は減少している。

公売実績は、平成18年から20年で128件、落札額217万円。収納向上のため、知恵をしばった施策がおこなわれていた。

■郡上市

ゼロ予算事業

既存の人材・施設などを活用し、予算措置を伴わない49事業に取り組み中。職員の創意工夫により施策展開がなされていた。

産業建設

太陽光発電補助
106基目標



家庭用の太陽光発電

8月18日協議会開催

ISO14001取り組みの平成20年度実績と21年度の目標が示された。

平成20年度の結果では、電気、用紙、灯油などは節約でき、公用車燃料は、昨年の豪雨で出勤が増えたため、5.2%増加した。

Q 公的審査の結果は。

A 大きな不適合はなかった。

Q 太陽光発電の補助目標は。

A 国の補助が復活となり、平成21年度の目標は、25基追加し、累積目標を106基とした。

公共施設の整備を追加

農村センターなどの暗幕・カーテン・放送機器・畳の張り替えなどが新たに負担対象に追加された。

Q 補助の条件は。

A 10万円以上で50%の負担、限度額は50万円。

Q 補助対象品目の考え方は。

A 安全・防犯・防災を基準とした。

議会広報

分かりやすく

ありのままに編集

7月13日、丹羽郡大口町の議会広報編集を視察した。

昭和47年12月創刊の大口町議会だよりは、第19回町村議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞して以来、5年連続で受賞。

平成20年度、第23回町村議会広報全国コンクールでは奨励賞を受賞。

編集方針は、「分かりやすく」そして「ありのままに」

難しい言葉（漢字）は極力使わず、文章は短く、簡潔に正しく伝える。

見出しの工夫と写真で変化をつける。

決定に至る審議（質疑・討論・採決）を、ありのままに載せる。

読者に分かりやすい言葉で親しみのある広報紙づくりに取り組んだ結果が、全



大口町を視察

国コンクールに入賞するという成果を生んでいる。議会だよりの内容も、活発な議会の様子がうかがえ

るものになっており、参考になるものであった。

里保育園で 保育サービスを拡大

8月17日協議会開催

園児数が減少している里保育園で、3歳未満児の受け入れと延長保育の実施で保育サービスを拡大し、活性化をはかる。

Q 保育体制と施設の整備はどうするのか。

A 乳児室の改修と水まわりの整備で、50〜60万円程見込んでいる。保育士を嘱託で2人増員する。

Q 園児数の増加が見込めるか。

A 未満児を含めた兄弟入所や延長保育の実施で希望者が増える。

拡充子育て応援特別手当

平成21年度に限り、3歳〜5歳までの児童1人あたり



里保育園で伸び伸び保育

り3万6000円を、第1子から支給する。

Q 昨年の子育て応援特別手当も未申請がある。申請もれないように。

A 前回は通帳のコピーが必要だったが、今度はそ

のようなことはない。対象者1350人の世帯主からの申請に基づき、原則口座振込みで支給する。

(厚生労働省より、平成21年10月15日付けで執行停止の通知がありました。)

子ども権利条例など視察

7月6日から8日の間、神奈川県川崎市、東京都日野市、武蔵村山市、東大和市、埼玉県和光市を視察した。

川崎市

子ども権利条例
「子供の権利を尊重する社会づくり」を基本目標として、市民、子ども達の声を取り入れ作られた。実践の場として「子ども夢パーク」が子どもの居場所づくりの拠点として公設民営で運営されている。

日の出町 福祉施策
日本一お年寄りにやさし

い福祉施策として、75歳以上の方に医療費、人間ドックの受診料無料など支援していた。

武蔵村山市

歴史民俗資料館
人と自然の共生をテーマに常設展示している。文化庁の指導で設置、展示品の寄託は文書でしっかりおこなっていた。

和光市

総合福祉会館
高齢者、障害者福祉施設を軸に地域開放を考慮した複合施設で、太陽光発電などエコ設備の導入を図っていた。



川崎市子ども夢パーク